

(一社) 日本原子力学会 標準委員会 基盤・応用技術専門部会
第9回 シミュレーションの信頼性分科会 (A2SC) 議事録

1. 日 時 2016 年 1 月 18 日 (月) 14 時～16 時 30 分
2. 場 所 東大工学部 8 号館 2 階 226 号室 東京都文京区本郷 7-3-1
3. 出席者 (敬称略, 分科会委員名簿順)
 - (出席委員) 中田耕太郎 (主査, 東芝), 越塚誠一 (副主査, 東大), 田中正暁 (幹事、
JAEA), 浅見光史 (海技研), 石塚龍雄 (CTC), 相澤直人 (東北大), 大
野修司 (JAEA) (代理: 大島宏之 (JAEA)), 大貫晃 (MHI), 大山一弘
(MFBR), 笠原直人 (東大), 甲斐芳郎 (高知工大), 佐々木泰裕 (関電),
鈴木喜雄 (JAEA), 巽雅洋 (原子力エンジ), 中村秀夫 (JAEA), 永吉
拓至 (日立), 深堀智生 (JAEA), 藤原大資 (テプシス), 古谷正裕 (電
中研), 上村孝史 (代理: 溝上伸也 (東電)): 20 名
 - (欠席委員) 佐田幸一 (電中研), 田中伸厚 (茨城大), 内藤倅孝 (ナイス), 美原義徳
(鹿島), 山口彰 (阪大), 吉田啓之 (JAEA): 6 名
 - 出席委員数 20 名 / 登録 26 名, 充足率: 77% (>67%: 成立下限)
 - (常時参加者) 加藤達也 (東芝), 坪井一正 (アンシス), 東條匡司 (GNF-J), 規制庁 1
名
 - (欠席) 尾崎哲浩 (原燃工), 久語輝彦 (JAEA), 佐方宗樹 (CD-adapco), 佐藤
達彦 (JAEA), 吉田学 (GNF-J), 規制庁 2 名
 - (オブザーバ) 鈴木知史 (JAEA), 規制庁 1 名

4. 配布資料

- | | |
|-------------|----------------------|
| A2SC-9-1 | 議事次第 |
| A2SC-9-2(1) | 前回議事録案 |
| A2SC-9-2(2) | 前回議事メモ |
| A2SC-9-3(1) | ガイドラインの制定経緯 |
| A2SC-9-3(2) | 公衆意見および標準委員会コメントへの対応 |
| A2SC-9-3(3) | ガイドライン最終案 (抜粋) |
| A2SC-9-4(1) | 今後の活動について |
| A2SC-9-4(2) | 講習会の開催について |

5. 議事録

(1) 主査挨拶

冒頭、中田主査より、去る 12 月 11 日の第 63 回標準委員会にてガイドラインが制定と
なったこと及びそれまでの経緯の報告と、制定までの委員各位の協力に対してお礼が

述べられた。

(2) 委員交代

吉田啓之委員（JAEA）の交代として鈴木知史氏（JAEA）の推薦があり、吉田委員の退任と鈴木氏の委員就任について、満場一致で承認された。

(3) 前回議事録確認

前回分科会の議事録案（A2SC-9-2（1））が承認され、前回議事録メモ（A2SC-9-2（2））を参考用に配布する旨説明された。

(4) 標準委員会及び基盤応用専門部会でのガイドラインの制定状況について

資料 A2SC-9-3(1)に基づき、中田主査より、第 63 回標準委員会での決議までのガイドライン制定に係るこれまでの経緯について報告があった。また、田中幹事より、資料 A2SC-9-3(2)に基づき、公衆審査意見提出者からのコメントに対する対応および誤字等による修正について報告があった。併せて、資料 A2SC-9-3(3)に基づき、ガイドライン最終案（抜粋）の説明があった。質疑応答において、頂いた意見に対する今後の対応、分科会の今後の活動、次回改訂に関する意見が出された。

(5) 今後の分科会活動について

資料 A2SC-9-4(1)に基づき、中田主査より、2020 年までの今後の予定について、講習会の実施と「ガイドライン」英文化、国際会議（CFD4NRS6：米国 MIT）でのガイドラインの紹介、また、次回改定に向けたガイドラインに関する最新状況の調査、改訂版作成スケジュールについて報告があった。質疑において英文化作業へのコメント、(4)に引き続いて、次回改定までの分科会の活動について議論があった。

(6) ガイドライン講習会の開催について

資料 A2SC-9-4(2)に基づき、田中幹事より、2016 年中に開催を予定しているガイドラインの講習会の実施内容案に関して説明があった。質疑において、開催目的や実施項目に対するコメントがあった。幹事団にて持ち帰り検討し、必要に応じてメール審議等を行い、次回分科会で議論することとなった。

(7) その他

次回分科会について、幹事団より 5 月終わり頃の開催について提案があり、後日日時を幹事団より連絡することとなった。

以上